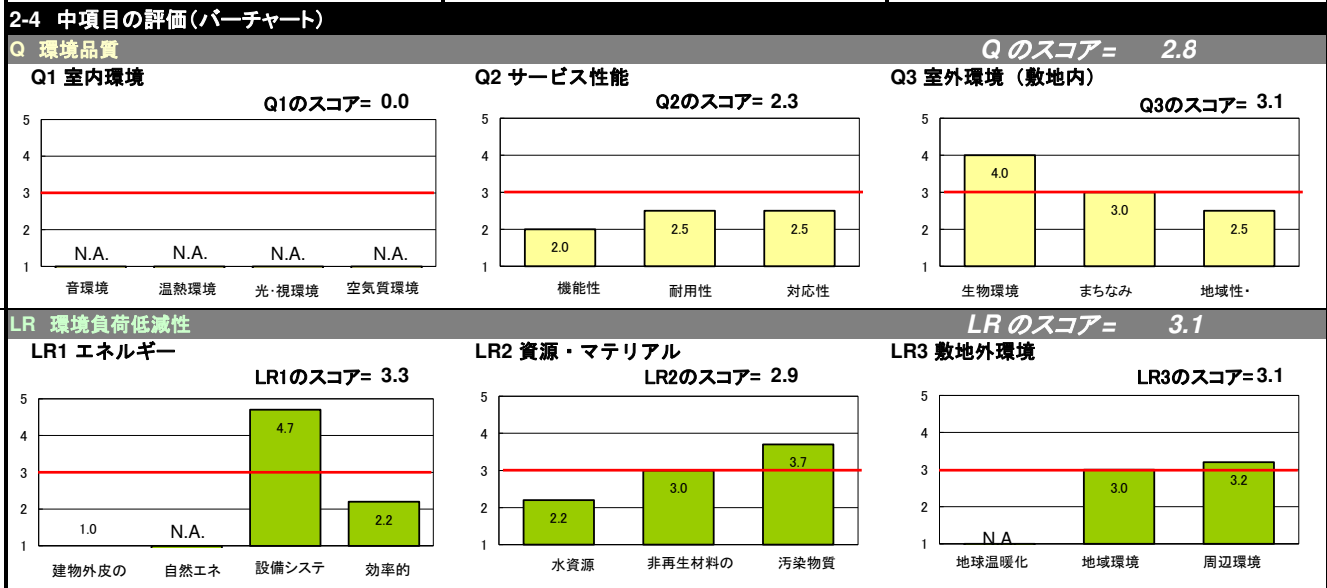
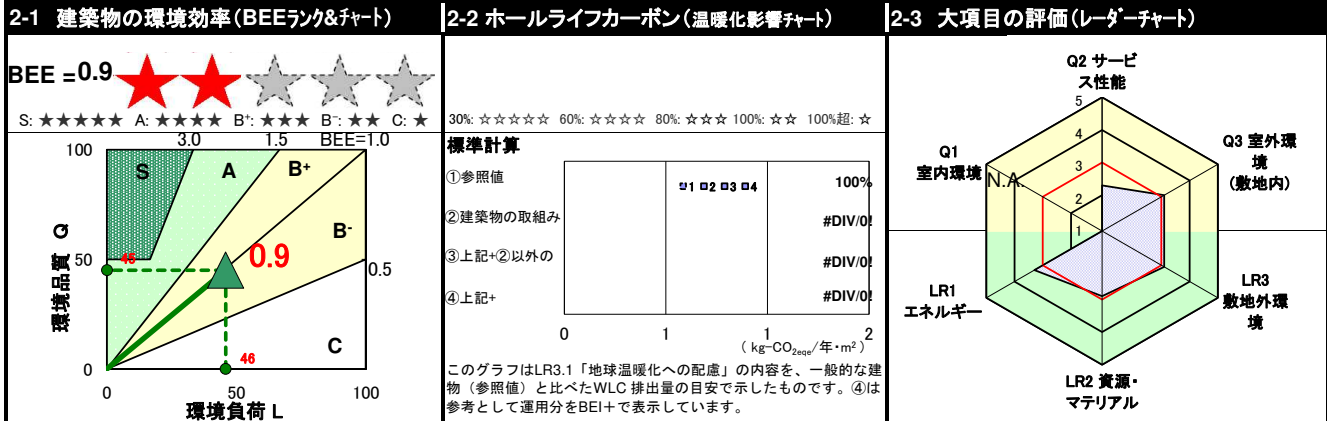


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	宝塚商業棟北立駐新築計画	階数	地上4F
建設地	兵庫県宝塚市栄町一丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、法22条指定地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年6月 予定	評価の実施日	2026年7月2日
敷地面積	13,181㎡	作成者	石谷 真由美
建築面積	1,477㎡	確認日	2026年7月3日
延床面積	5,903㎡	確認者	石谷 真由美



3 設計上の配慮事項		
総合	周辺建物との景観の調和を図るため、外観の色調と高さを合わせている また、既存の緑地をそのまま残し、新たに今回計画している立駐横の通路脇に緑地を設け、遊歩道から緑地を見ながらの動線が繋がるように計画している	その他 0
Q1 室内環境	移動円滑化経路は1階車椅子用車室までだが、車椅子用のエレベーターを設置している	Q3 室外環境(敷地内) 既存の緑地・遊歩道から今回計画している立駐横の通路わきへ歩行者が緑地を楽しみながら通れる道を繋げる計画としている
LR1 エネルギー 照明はデライト/タイマー制御にしている	LR2 資源・マテリアル 電気配線などの設備を更新する際、仕上材を撤去しなくてもできるようにしている	LR3 敷地外環境 植栽は既存の緑地を残し新たに緑地を新設 樹種については既存の植栽に合わせ、外来種の確認をしている 景観は隣接する建物と調和した色を選定し、エレベーター棟の色調を少し落とし変化のある景観にしている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される